

公述人16(会場②さいたま新都心合同庁舎)

意見の概要

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。

1. 民主的な手続きに従って公正でオープンな検討を行った上で、計画を策定して下さい。
2. 治水・利水その他の政策目標に関して、客観的且つ科学的な事実をふまえた議論を、可能な限り反映させてください。
3. 行政運営の基本である「最小の経費で最大の効果」を上げる政策を目標にしてください。その「基本」は関係者に共有されていますか？ 国の財政が非常に厳しい中で、真に必要な老朽化した全国の社会的基礎インフラの修理・更新及び再生可能エネルギーの開発・普及等の分野には、無限のニーズがあります。
4. 流域住民の安全と生活再建支援への配慮が何より優先して配慮されなければならないと思います。
5. 環境保護への配慮と文化財保護の視点も重要です。治水・利水等の必要性（の欠如）を国民目線で客観的に評価すれば、流域全体をラムサール条約及び文化財保全地域に指定することは我が国にとって十分に意義のあることだと考えます。